

障害のある人も楽しめる
「ユニバーサル映画館」を開設

平塚 千穂子さん(44)

20席ほどの観客席には、盲導犬の姿も珍しくない。「映画館に行くことをためらう全ての人に、開かれた場所をつくりたい」。ユニバーサルシアター「シネマ・チュプキ・タバタ」を東京都北区で開業した。



この人

は、人気声優の小野大輔さんがナレーターを担当。多くのファンが詰め掛け、初めて耳にする音声ガイドに「作品を深く理解できる」と目を丸くしていた。

や弱視の人と銀幕の世界を楽しむ団体「シティ・ライツ」の代表。内装工事や設備費など1800万円はわずか3カ月の募金で集めた。著名な音響監督らの協力も得た。

大学を卒業後、仕事上の挫折などが重なり落ち込んだとき、映画に救われた。劇場に勤めていたころ、「諦めていたけど、本当は見たい」という視覚障害者の声を聞き、2001年に団体を設立。交通事故で失明した夫とも活動を通じて知り合った。

「映画館では1人じゃない。同じタイミングで笑ったり、驚いたりできる喜びを分かち合いたい」。

2016年12月28日

※ほか 秋田 さきがけ、富山新聞、福井新聞、北國新聞、日本海新聞、新潟日報、静岡新聞、京都新聞、神戸新聞、山陰中央新報、徳島新聞、高知新聞、西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞などに掲載